

道の駅の役割についての研究

福島工業高等専門学校 学生会員 ○猪狩 功貴
福島工業高等専門学校 フェロー 金子 研一

1. はじめに

21 年 7 月に平田村に道の駅「ひらた」が開設され、12 月にいわき市で初めての道の駅「よつくら港」(図 1)が仮オープンした。「ひらた」は国道 49 号、「よつくら港」は国道 6 号沿いにある。これを機会に道の駅の役割を考察したので、報告する。



図 1.仮オープンした道の駅「よつくら港」

2. 道の駅の機能

道の駅の機能として①24 時間利用可能なトイレ、駐車場などの「休憩機能」②周辺の道路や地域の観光情報を提供する「情報発信機能」③物販や文化施設を通した「地域の連携機能」が挙げられる。本研究では「ひらた」のオープン前後での周辺の休憩施設の利用状況、「よつくら港」オープン前の浜通りの各道の駅の「休憩機能」と「情報発信機能」について調査した。

3. ひらた

「ひらた」のオープンで国道 49 号沿いの駐車可能な施設の利用状況がどのように変化するかを調査した。調査日は 6 月 6 日と 7 月 11 日の土曜日、時間帯を往復路合わせて AM10:00~PM12:30 とした。

表 1.国道 49 号における調査結果

地点	名称	オープン前				オープン後			
		往路		復路		往路		復路	
		普通	大型	普通	大型	普通	大型	普通	大型
B	コンビニ	6	4	4	8	7	6	12	8
C	ドライブイン	4	2	19	7	1	0	14	2
D	パーキング	2	0	2	1	0	0	1	1
E	パーキング	0	4	1	4	1	0	0	5
G	パーキング	0	0	0	1	0	0	0	1
H	パーキング	1	0	0	0	0	0	0	1

調査したのはいわき中央 IC から郡山方面への 50Km の区間である。調査結果を表 1 に示す。

(1) 大型車の利用

「ひらた」のオープン前後で大型車の駐車施設に対する利用状況を比較してみると、若干の違いがあるが駐車台数の多い施設、そこに駐車している台数等に大きな違いは見られなかった。特に車線変更で簡単に入れるような台形型のパーキングエリア(図 2)や大型駐車場があるコンビニエンスストア、ドライブインといった施設における大型車の駐車台数が多い。道の駅にも大型車の駐車場はあるものの、現状段階での利用は非常に少なく富山など他県ナンバーのものが 2、3 台見られる程度だった。



図 2.国道 49 号のパーキングエリア

(2) 乗用車の利用

一般の乗用車に関しては路肩のパーキングの利用は少なくコンビニエンスストアへの駐車が圧倒的に多い。また一部のドライブインや飲食店では昼食の時間帯に限定して、駐車台数が急増する傾向にある。「ひらた」では 50 台近い駐車があるが大半はいわき、福島で他県ナンバーはほとんど見られなかった。

キーワード：道の駅、ひらた、よつくら港、パーキング

連絡先：〒970 - 9034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校 TEL 0246 - 46-0829

4. 浜通りの道の駅

国道 6 号沿いにある道の駅「ならは」と道の駅「南相馬」における情報館とトイレの利用者数に関し、1 時間集計した。利用状況についての結果を表 2、表 3 に示す。また図 3、図 4 は情報館とトイレの位置を示す。いずれも駐車場の位置は図の下側である。

(1) 情報発信

情報の発信方法としてポスター、展示物、パンフレットなど各道の駅によって様々な工夫がなされているが、タッチパネルを使用した端末と大型のディスプレイで情報発信を行っている点は共通である。基本的な道路交通情報や地図情報などは両者ともほとんど同じ内容であった。しかしディスプレイ(図 5)の表示切り替え速度が「ならは」で 5 秒、「南相馬」で 10 秒と違うため、ゆっくりとした「南相馬」のほうが多くの利用者の目を引いていた。

(2) 情報館の利用状況

「ならは」の情報館は駅内で最も大きなトイレと隣接しているのにも関わらず、利用者は 1 時間の計測で 104 人中 11 人と非常に少なかった。一方「南相馬」は同じ 1 時間でも 55 人中 44 人が情報館を利用しており、道の駅内におけるトイレの位置が重要であると感じた。

5. まとめ

今回の調査結果から、道の駅の立地条件や利用者の属性によってそこに求められる機能が異なると考えられる。「ひらた」は山越えする国道 49 号沿いにあり大型車の運転手にとって休憩する施設として「ひらた」は入りにくく、また路肩のパーキングで十分に用が足りる。道の駅は自家用車の利用者にトイレや物販としての役割が大きい。

国道 6 号沿いの「ならは」および「南相馬」は沿線にパーキングなどがほとんど無いため自家用車、大型車問わず食事を含めた休憩施設として利用されている。

情報発信については観光客の多いシーズンを除くと、地図や観光情報は必要とされていないようである。また「南相馬」は観光や地域に関する情報が多く利用者の目を引きやすい半面、既に解除されている通行止めの情報といった不要なものも多々見受けられ、情報の定期的な更新、または電子化が必要だと感じる。現状では緊急時に交通情報、迂回情報、緊急医療情報などをいかに効率よく伝達するかのシステムが未成熟であり、これらの構築が急務だと考える。

表 2.道の駅「ならは」の調査結果

	利用人数		利用内訳			
	トイレ	情報施設	端末	地図	掲示板	来たが利用せず
男性	55	4	2	1	0	1
女性	38	7	1	0	3	3

表 3.道の駅「南相馬」の調査結果

	利用人数		利用内訳				
	トイレ	情報施設	端末	地図	掲示板	展示物	スタンプ
男性	7	23	2	12	1	7	1
女性	4	21	1	8	2	8	2

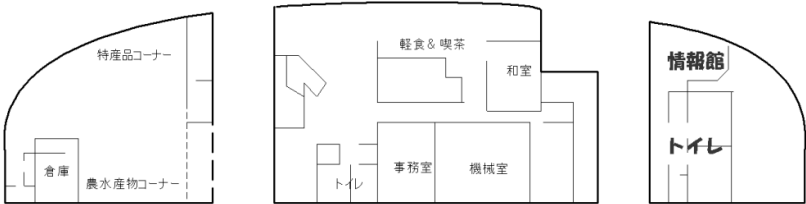


図 3.道の駅「ならは」情報館の位置図

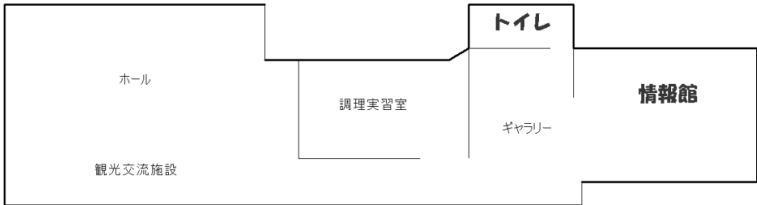


図 4.道の駅「南相馬」情報館の位置図



図 5.道の駅「南相馬」情報館